



SAF の分析は

NKKK へお任せ下さい

カーボンニュートラルの実現をお手伝い致します



当分析センターは近年注目されている「SAF（Sustainable aviation fuel）持続可能な航空燃料」の分析を国内で初めて実施した分析機関であり様々なノウハウを持っております。

「ASTM D7566」「ASTM D1655」「Def Stan 91-091」「共同利用貯油施設向け統一規格」等の各種品質試験を承っておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



product_lab@nkkk.or.jp

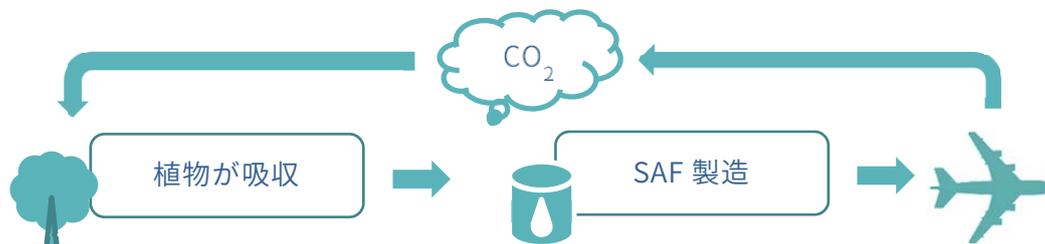
担当部署：一般社団法人日本海事検定協会
理化学分析センター 有機チーム

TEL：045-772-1522

ご依頼・お問い合わせはメールまたは、
お電話でお願いいたします。

SAFとは？

「SAF (Sustainable aviation fuel)：持続可能な航空燃料」はバイオマス由来の原料等を使用して製造される燃料です。SAFの活用を通じた温室効果ガス排出量削減の試みが国内外の航空産業で進められています。燃料は燃焼時に二酸化炭素 (CO₂) を排出しますが、SAFの場合は原料植物がCO₂を吸収しているため、トータルのCO₂排出量は化石燃料より少なくなります。

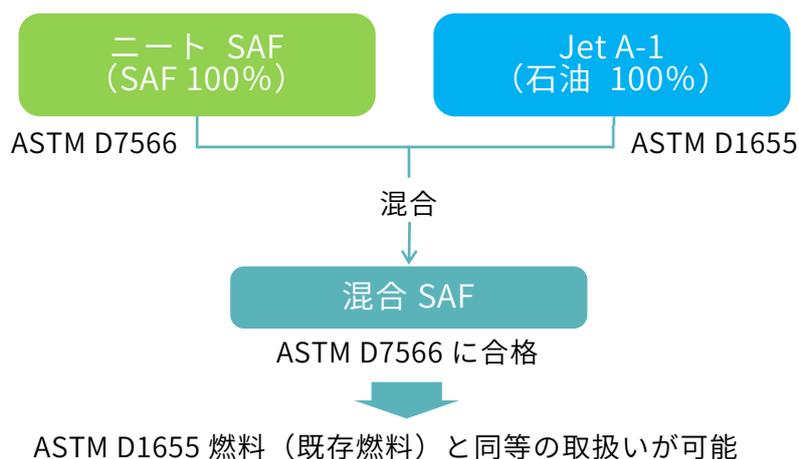


ニート SAF の種類 ASTM D7566

ANNEX 番号	種類	概要	原料	従来燃料への混合上限
A1	FT-SPK	バイオマスガス化, Fischer-Tropsch 合成	木質, 都市ゴミ, セルロース系バイオマス等	50 容量%
A2	HEFA SPK	油脂および脂肪酸の水添	廃食油等の油脂	50 容量% ※
A3	SIP	糖由来合成イソパラフィン	バイオマス糖	10 容量% ※
A4	SPK/A	非化石由来の芳香族をアルキル化した合成ケロシン	非石油由来芳香族	50 容量% ※
A5	ATJ	バイオマスをブタノールまたはエタノール転換後水添	バイオマス糖や都市ゴミ (衣料等) など	50 容量%
A6	CHJ	微細藻類および廃食油を水素化熱水分解	微細藻類および廃食油	50 容量%
A7	HC-HEFA SPK	微細藻類由来の炭化水素を水添	微細藻類抽出油	10 容量%
A8	ATJ-SKA	芳香族を含む ATJ	C2~C5 アルコール, 合成炭化水素	50 容量%

※ 燃料の密度や芳香族含有率等の性状によっては、混合率が規定の上限未満に制限されることがある。

ニート SAF は Jet A-1 等の既存ジェット燃料と混合して使用されます。ニート SAF 及び混合 SAF は独自の品質要求があり、その品質要求を満たす事で以後既存ジェット燃料と同様に取り扱うことができます。



下記アドレスに「SAF の品質規格と試験」についての詳細な説明資料がございます。

https://www.nkkk.or.jp/pdf/public_business_report_2023/4-04-2023.pdf

当会では「ASTM D7566」「ASTM D1655」等の各種品質試験のご依頼、品質に関するお問い合わせ、各種ご相談を承っておりますので、何なりとお問い合わせ下さい。